

## コロナで新たな連絡のお願い

重要!!

正月を目前にコロナ感染症の勢いは衰える気配がありません。会員の皆様がPCR検査を受けた場合、「検査結果を待たず事務局まで連絡してください」とお願いしているところです。

次に、皆様に新たなお願いです。

自分は症状も無いが、家族や飲食を共にした知人がPCR検査を受けた場合も、事務局に状況を連絡ください。PCR検査を受けた家族、知人と接触していれば、会員が感染している可能性もあり、就業先の発注者の中には、すぐにでも会員の就業を休んでほしいと考えるところもあります。

また、保健所からあなた自身が濃厚接触者と認定された場合も事務局まで連絡ください。発注先や家族、知人の間に感染が広まることを避けるために「うつらない、うつさない」との強い思いで行動してください。(事務局)

## 《《 就業拡大チーム便り 》》

新型コロナの影響で、出かける機会も少なく、家に閉じこもっている方も多いと思います。コロナ不況下で、センターが依頼を受ける仕事も減り、会員の皆さんが希望の仕事を見つけていただくのはなかなか困難な状況ですが、就業についてお悩みの方は、まず就業相談会に来ていただくことをお勧めします。

自宅からあまり遠くない場所で、就業可能な時間帯と就業内容であれば、とりあえず就業を試みようという気構えがあれば、意外に早く仕事は見つけられます。

さらに、加齢とともに気力・体力は急激に減退します。現役を退かれたあとの空白はできるだけ短い方がよいと思います。

**就業相談会は毎週月曜日午後**に開催しています。ご希望の方は事前予約をお願いします。

(就業拡大チーム)



西宮市市民憩の家「広田山荘」は、西宮市シルバー人材センターが市から指定管理を受け、管理運営を行っている施設です。現在6人の会員が年間359日2交代で就業しています。

主な業務は、日々の利用受付・使用料管理ですが、広田山荘内の樹木の剪定・除草などの清掃美化活動にも時間を割いています。

今年は新型コロナ感染拡大のため3月中旬から約2か月、臨時休館。幸い6月から再開し、ほぼ例年並みの利用者が戻ってきましたが、春の大茶会を始め、シルバー人材センター独自の活動は中止となりました。

このような状況下、我々管理員は、「広田山荘から感染者を出さない」の信念のもと、利用者の検温、共用部の消毒、換気などを定期的に行いつつ業務に取り組んでいます。

これからも皆様に気持ちよくご利用いただけるよう、管理員一同力を合わせて頑張っていきたいと思っております。皆様のご利用をお待ちしています。

(広田山荘管理員一同)

## ●ベルマーク&使用済インクカートリッジ収集のお願い

地域貢献の一環として「ベルマーク&使用済インクカートリッジ」の収集活動に取り組んでいます。この取り組みが定着化しつつあるのも皆様方のご協力の賜物と喜んでおります。今後ともよろしくお願いいたします。(広報・企画委員会)

**11月末の事業実績**  
※( )は昨年比

- 会員数：2,274人(+8人)
- 事業高累計(含派遣)：460,070千円(-53,931千円)
- 就業実人員(含派遣)：1,721人(-38人)

**センター無事故継続日数**

- 就業中：0日
- 就業途上他：66日

(2020年11月30日現在)



●安全・適正委員会からのお知らせ●

■年末・年始を  
「健康に」「安全に」過ごしましょう

★強い思いで取り組むことが大切です！

- 新型コロナは第三波となり、我々に迫っています。会員おひとりお一人が「うつらない・うつさない」との強い思いでこの時期を乗り越えましょう。
  - 3密を避け、マスク、手洗い、換気の励行に加えて5つの場面に注意してください。
    - 1.飲酒を伴う懇親会など
    - 2.大人数や長時間におよぶ飲食は4人以下で
    - 3.マスクなしでの会話
    - 4.狭い空間での共同生活
    - 5.休憩室、喫煙所、更衣室など
- 5つの場面に遭遇した場合は、感染リスクが高まりますので、その後の体調や行動に注意してください。



出典：厚生労働省ホームページ  
(<https://www.mhlw.go.jp/>)

★交通事故に気をつけて！

- 年末年始は高齢者の交通事故が多発します。
- 信号が黄色なのに「渡ってしまった」結果 → 事故に！
  - 横断歩道がもう少し先にあるのに横着して渡ってしまい、結果 → 事故に！
  - 夕暮れ、夜間の視界不良や視力の衰えから → 事故に！
  - 就業先からの帰り道、自転車で通いなれた道で → 転倒事故に！

我々シルバー会員は、「相応の体力、年齢」を意識し、『事故に遭わない、起こさない』を目標に、「急がない！」「無理しない！」を実践して、すこやかに新年をお迎えください。

(安全・適正委員会)

トラブルに巻き込まれないために①

会員の皆さん、日頃のお仕事で苦労様です。しかし、心にちょっとした隙間ができるとトラブルに巻き込まれます。今年度に起こったトラブルを紹介しますので、ご注意ください。

駐輪場付近の案内の就業中に起こったできごとです。

大型バイクが通行の邪魔になる場所に駐車していると発注者からの要請がありました。会員が持ち主にバイクを移動していただくようお願いしたところ、持ち主から会員のお願いの態度、言葉が悪いと言われ、口論となりました。その際、会員がバイクを叩いたため、持ち主からバイクに傷をつけたと警察ざたになり、結局、傷の箇所を賠償することになりました。

【注意】声のかけ方ひとつで、相手が気持ち良くバイクを移動してくれたかも知れません。また、勝手に他人のものに触ったり、叩いたりすることはNGです。(事務局)

終活教室 ①

エンディングノートを書く

終活とは・・・

誰にでも訪れる人生の終わりのための準備。自分の死と向き合い、自分らしい最期を迎えるための準備。自分の人生の棚おろし作業など、そのために必要なことのひとつです。『エンディングノート』に何を書くのか、書かねばならないのか、の決まりごとはなく、また情報量も自由です。大切なことは、自分の死後、残された者にかかる負担を抑えること。そこに大きな意義があります。

例えば、

- ①自分自身の身体について(健康状態など)
  - ②財産
  - ③葬儀、お墓について
  - ④友人の連絡先などもあればいいでしょう。
- 最近書店などで売られている多くの『エンディングノート』を参考に。

\* 法律的な効力はないので、自由に正直な気持ちをつづればよいでしょう。